

平成22年2月23日

各 位

社団法人 電気学会
電力・エネルギー部門編集委員会
委員長 餘利野 直人

平成21年度電気学会高校生懸賞論文コンテスト表彰式のご案内

拝啓 ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、昨年度に引き続き電気学会ならびに電気事業連合会との共済にて、高校生を対象とした懸賞論文コンテストを開催致しました。つきましては、その表彰式を下記の通り開催致しますので、ここに御案内申し上げますとともに、御取材ならびに表彰式に関する記事の掲載につきまして御検討頂きますよう宜しくお願い申し上げます。

敬具

記

1. 表彰式

日 時 平成 22 年 (2010 年) 3 月 13 日 (土) 11 時 30 分～12 時 15 分
会 場 東京電力(株) 電気の史料館 2 階ミュージアムホール
(会場案内 : <http://www.tepco.co.jp/shiryokan/>)

2. 受賞パーティ

日 時 平成 22 年 (2010 年) 3 月 13 日 (土) 12 時 30 分～13 時 10 分
会 場 東京電力(株) 電気の史料館 2 階ミュージアムホール

※ 高校生懸賞論文コンテストの概要につきましては、下記の添付資料を御参照下さい。

添付資料 1 「平成 21 年度電気学会高校生懸賞論文コンテストのポスター」

添付資料 2 「平成 21 年度電気学会高校生懸賞論文コンテストの実施報告について」

以 上

お手数では御座いますが、表彰式会場にて御取材頂ける場合は、下記担当宛、事前に御連絡頂きますよう宜しくお願い致します。

【御問合せ先】 電気学会 電力・エネルギー部門編集委員会
高校生懸賞論文 広報担当 田邊 隆之
(株)明電舎 電力ソリューション技術部 ソリューション技術課
〒141-6029 東京都品川区大崎 2-1-1 ThinkPark Tower
TEL : (03) 6420-7214 (ダイヤルイン) , FAX : (03)5745-3042
E-mail : tanabe-t@mb.meidensha.co.jp

平成21年度 電気学会高校生懸賞論文コンテスト

応募論文： 電気エネルギーを対象とした論文
(テーマは自由)

応募資格： 高等学校生
高等専門学校の3年生まで

応募締切： 平成21年10月8日(木) 必着

表彰： 最優秀論文 1編 5万円
優秀論文 2編 3万円
佳作 数編 1万円

(各賞には記念品も贈呈します)

指導者賞 5万円
参加賞： 図書カード 500円
(応募先着80名の方に限ります)

応募先 メール添付の場合

kensho@iee.org

郵送の場合

102-0076 東京都千代田区五番町6-2

HOMAT HORIZONビル8F

電気学会 会誌編修課

高校生懸賞論文コンテスト係

募集要項：<http://www2.iee.or.jp/ver2/pes/index.html>

電気学会 電力

検索

主催 電気学会 電力・エネルギー部門 共催 パワーアカデミー(電気事業連合会)



平成 21 年度電気学会高校生懸賞論文コンテストの実施報告について

電気学会電力・エネルギー部門

編修委員会委員長

餘利野 直人

高校生懸賞論文コンテストは、今年で 3 年目を迎えました。これは、高校生に電気エネルギー技術を身近なものと感じ、我が国の基盤を支える重要な技術であること、未来を拓く有望な技術であることを理解いただき、電気工学を学ぶ契機となることを期待して始まりました。今回は 3 年目を迎え、全国の高等学校、工業高等専門学校 30 校から、昨年の 2 倍近い 152 編の論文を応募いただきました。そして、厳正な審査の結果、下表のように最優秀論文 1 編、優秀論文 2 編、佳作 5 編を選考するとともに指導者賞として優秀な応募論文をご指導いただいた先生 1 名を選出しました。

応募いただいた論文は、論旨の展開、独創性、発展性、客観性など幅広い観点から評価して 1 次、2 次審査を実施しました。

多くの論文は、予め提示した参考となる文献やホームページ、科学館などの施設を調査して論文としてまとめたもの、学校であるいは自ら実験・観察して結果を考察したものです。内容は新・省エネルギーそして環境問題に関する論文が多くを占めています。風力発電、太陽光発電はもちろんごみ焼却発電、マイクロ水力発電などをテーマに興味深い内容やユニークな発想など、様々な論文がありました。中には、超電導、原子燃料に関する専門的な論文も見受けられ、勉強されている様子もうかがわれました。審査委員は、これら多彩な発想に満ちた応募論文を、興味深く、また楽しく拝読させていただきました。

評価の高い論文は、高校生らしい視点や考え方で課題を捉え、積極的に自分の意見を述べているものでした。とうてい実用化は困難と思われる提案でも、高校生らしい自由で柔軟な発想が、高く評価された論文もありました。一方、良くまとめられているものの主張がない論文の評価は、あまり高くありませんでした。

今回、論文を審査する中で、現代の高校生が電気エネルギーの技術や課題に対しどのように考えているのか読み取ることができました。このことから、現代社会の誰もが関わる電気エネルギーについて、我々電気学会の会員が分かりやすく伝えていくことの重要性を再認識した論文審査でもありました。論文を応募された高校生の中から将来電気学会で活躍するような研究者、技術者が現れることを願っています。そして 3 月 13 日の表彰式で受賞した皆さんにお会いできることを楽しみにしています。

論文募集の周知方法、募集開始と締め切りの時期、選考方法などにまだ反省すべき事柄があるため 22 年度は改善を図り、さらに盛り上がりのある高校生懸賞論文コンテストにしていきたいと思います。22 年度も 6 月頃にご案内する予定ですので、引き続き多くの高校生に応募いただくよう関係者のご協力をお願いいたします。

本コンテストの企画・推進にあたり、共催のパワーアカデミー（電気事業連合会）ならびに多くの論文審査委員の皆さまにご支援、ご協力をいただきました。感謝申し上げます。

<平成21年度電気学会高校生懸賞論文コンテスト審査結果>

最優秀論文賞	福島工業高等専門学校	矢吹 明紀 様
	『色素増感太陽電池の簡易作製法の検討』	指導 豊島 晋 先生
優秀論文賞	岐阜工業高等専門学校	佐村 拓哉 様
	『電気自動車の環境性能について』	指導 高野浩貴 先生
優秀論文賞	岐阜工業高等専門学校	後藤 裕子 様
	『太陽光発電の大規模導入について』	指導 高野浩貴 先生
佳作賞	愛媛県立弓削高等学校	阪井 志穂 様
	『イルミネーションによる癒しの世界の中で省エネ電気技術を探る』	指導 山岡武邦 先生
佳作賞	高知工業高等専門学校	坂本 龍哉 様
	『太陽電池の補助電源的使用に関する提案』	指導 細川光洋 先生
佳作賞	千葉県立船橋高等学校	広瀬実樹夫 様
	『二酸化炭素の有効利用法』	指導 志賀裕樹 先生
佳作賞	旭川工業高等専門学校	久澤 大輝 様
	『新エネルギー構想-大規模宇宙太陽光発電について-』	指導 井口 傑 先生
佳作賞	石川工業高等専門学校	矢木 菜摘 様
	『「トコトン使う」が世界を救う』	指導 河合康典 先生
指導者賞	高知工業高等専門学校	細川 光洋 先生

以上